

報道関係各位

2011年3月1日
さくらインターネット株式会社
(東証マザーズ：3778)

**さくらインターネット研究所、IPv6 接続テストサービス「さくらの6rd」(トライアル) の提供を開始
～6rd 方式により、次世代インターネットプロトコルIPv6 を手軽にご利用可能に～**

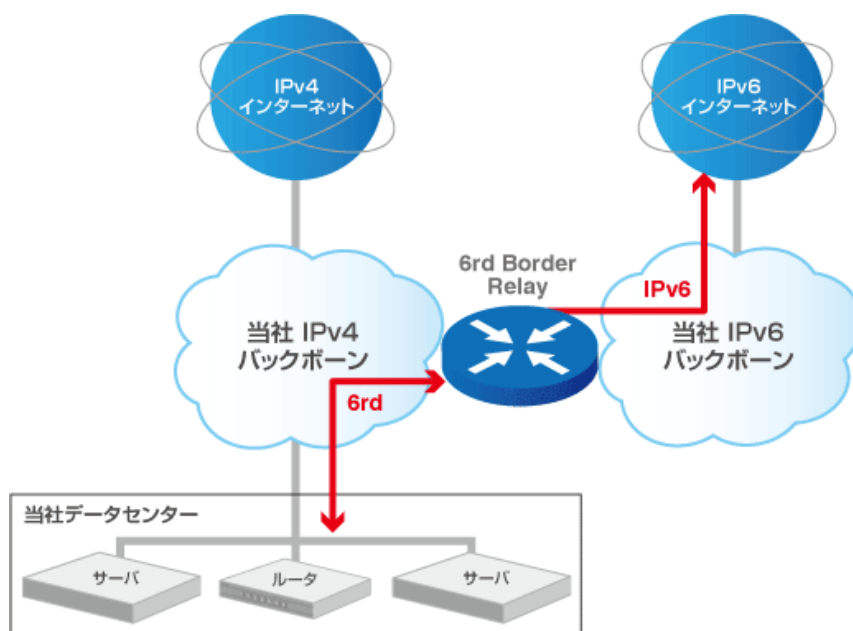
国内最大級のバックボーンネットワークを有しインターネットデータセンター事業を運営するさくらインターネット株式会社(本社：大阪府中央区、代表取締役社長：田中 邦裕)の研究組織であるさくらインターネット研究所は、6rd (IPv6 Rapid Deployment) 方式を用いた IPv6 接続テストサービス「さくらの6rd」(トライアル) を2011年3月1日より提供開始いたします。

現在のインターネット通信の主流となるプロトコル IPv4 は、以前より IP アドレスの不足が懸念されておりましたが、2011年2月、インターネット上で利用される IP アドレスを管理する国際的な組織 IANA (Internet Assigned Numbers Authority) における IPv4 アドレスの中央在庫が枯渇しました。今後しばらくは、地域インターネットレジストリ RIR (Regional Internet Registry) の在庫より各地域の事業者向けの割振りが継続されますが、日本が含まれるアジア・パシフィック地域の RIR である APNIC (Asia Pacific Network Information Centre) の在庫も、2011年中盤には枯渇すると予測されています。RIR の IPv4 アドレスの在庫枯渇後は、新たな割振りができなくなり、新規のユーザをインターネットに接続できなくなる可能性があるなど、インターネットの発展に影響を及ぼす恐れがあると言われております。この問題を解決するため、IPv4 にかわるプロトコルとして、次世代インターネットプロトコルと呼ばれる IPv6 が開発され、IPv6 への移行が推進されてきました。

このような状況から、当社においてもサービスの IPv6 対応をはじめ、プロトコルトランスレーションサービスの提供、IPv4 アドレスの確保など、様々な IPv4 アドレス枯渇対応の検討を進めております。さくらインターネット研究所では、まず、既存のお客様への IPv6 対応方法について検討を行い、IETF (インターネットで利用される技術を標準化する組織) において、2010年8月に仕様が策定された 6rd (RFC5969、IPv6 Rapid Deployment) の採用を決定しました。6rd は、ネットワークの構成変更が少なく、お客様に手軽にご利用いただくことができ、また、通信品質の確保が可能な方式です。各 OS の実装状況の調査や動作検証などを行った結果、問題なくお客様への提供が可能な技術であることが確認できたため、先行して既存のお客様向けに本方式を用いた IPv6 接続テストサービス「さくらの6rd」(トライアル) を開始いたします。

これにより、さくらの VPS や専用サーバ、あるいはハウジングサービスなど、サーバの管理者権限がお客様に提供されている当社の既存 IPv4 サービスをご利用のお客様は、お申込み不要で手軽にいつでも IPv6 接続環境を構築することが可能となります。

・「さくらの 6rd」(トライアル) 構成イメージ



・「さくらの 6rd」(トライアル) のご利用について

「さくらの 6rd」(トライアル) のご利用方法については、下記のページをご参照ください。

<http://research.sakura.ad.jp/6rd-trial/>

以上

■ さくらインターネット株式会社

本社：大阪市中央区南本町1丁目8番14号

設立：1999年8月17日 従業員：170名

資本金：8億9530万円 売上高：78億1246万円（平成22年3月期）

■ この報道資料の問い合わせ先：

さくらインターネット株式会社 企画部 広報宣伝チーム

TEL：03-5332-7072 FAX：03-5332-7080 E-mail：press-ml@sakura.ad.jp

■ 一般のお客様の問い合わせ先：

さくらインターネット カスタマーセンター

TEL：0120-775664 E-mail：support@sakura.ad.jp